

共に闘った分団員を

誇りに思います

小野俊一さん

伊豆の国市消防団
長岡方面隊第七分団部長

MY WAY

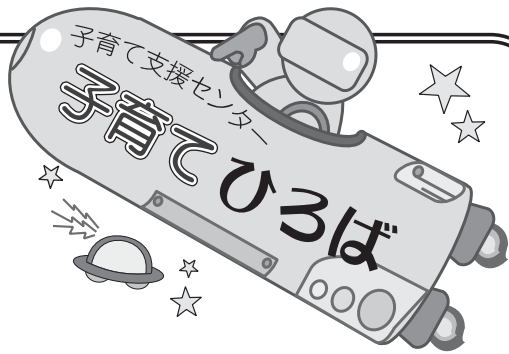


ポンプ車から伸びるホースの水で的を倒すまでの、早さと正確さを競う競技。『ポンプ車操法』。消火活動の基本です。小野さんはこの競技の中心となる『指揮者』。

長岡方面隊第七分団は、先ごろ行われた『静岡県消防操法大会』に、田方支部代表として出場し、見事優勝という快挙を成し遂げました。練習を始めたのは去年の四月。一年四月月に及ぶ週三日の練習は、一日の仕事を終えた十九時半から始まります。『続けられたのは、出場する選手以外の団員が、準備や片付けなどサポートしてくれたおかげ』と長かった練習期間を振り返ります。県大会当日。『楽しんで、思い切つてやつてこよう』と、指揮者は団員をリラックスさせましたが、競技終了後には、優勝の手応えを感じていたとのこと。

実は、彼の分団は昭和四十一年に県大会出場経験があります。今回出場した選手のうち三人は、当時の選手の小野さん。『OBも地域の皆さんも応援してくれました。価値ある優勝です』。練習が無い夜に、寂しささえ感じると言います。こんなに熱中できるのはなぜ？『消防は、人や地域とのつながりをくれた。団員とのつきあいは一生物です』。答えは絆でした。

★消防操法大会記事は十四ページに掲載



市では、子育てを支援する『地域子育て支援センター』を3カ所開設しています。

親子で来園して楽しく遊んだり、友達を作ったり、保護者の育児情報交換の場としてご利用ください。市内に住所があり、小学校就学前までの幼児と保護者なら、どなたでも無料で利用できます。

また『子育て相談』もありますので、お気軽にどうぞ。

なかよしひろば

(慈恵保育園地域子育て支援センター)
白山堂 171 2 電話 0558 76 2552
月～金 9:00～17:00
(園庭開放は9:00～11:30)

9月のぎょうじ

5日(水) 指えのぐであそぼう
(事前申し込みが必要)
天気の良い日は園庭で絵本や紙芝居の読み聞かせをしています。相談専用電話では、子育ての悩み相談に、専門の保育士が応じます。ご利用ください。

相談専用電話 0558 76 2656

詳しくは各園まで
お問い合わせ
ください



すみれひろば

(地域子育て支援センターすみれ)
四日町 234 1 電話 055 949 0823
月～金 9:00～11:30、13:30～16:00

9月のぎょうじ

3日(月) 防災訓練
5日(水) 読み聞かせ
7日(金) リズム遊び
10日(月) 製作(運動遊び用)
11日(火)
14日(金) 誕生会
19日(水) 子育て講演会
20日(木) 身体測定
25日(火) 十五夜の集い
27日(木) 運動遊び
28日(金) クリーン作戦

行事の時間はいずれも午前中

ひまわりひろば

(ひまわり保育園大仁分園
地域子育て支援センター)
大仁 229 1 電話 0558 76 1173
月～金 9:00～11:30、13:30～16:00

9月のぎょうじ

3日(月) 防災訓練
4日(火) リズム遊び
6日(木) 絵本の読み聞かせ
11日(火) 製作
14日(金) 誕生会
21日(金) ドレミママ演奏会(10:30～)
25日(火) 十五夜の集い
28日(金) クリーン作戦
公園へ行こう*

* 9:30～葦山時代劇場ひだまり広場に現地集合、現地解散。雨天中止。行事の時間はいずれも午前中都合により日程変更あり

We are 歯周病撲滅隊

新メンバー・新役員で
初の委員会開催



七月二十四日に、今年度一回目の歯周病予防対策委員会が開催され、新役員は、会長に中田邦夫さん(市民代表)、副会長に新元潤二さん(市民代表)が選ばれました。委員二十一人のうち、半数以上が新メンバーといついで、第一回の委員会では、歯科医師からの歯周病について、歯周病予防対策の進め方についての講話がありました。また、田方歯科医師会伊豆の国支部からは、二十歳からの歯周疾患検診、市内歯科医師による歯周病予防ミニ講演会、健康まつりを通しての啓発活動などの取り組みが紹介されました。

今後の活動について委員から出た意見
新メンバーも多いので、まずは自分たちが歯周病について勉強しよう。講演会を開催するときには、人集めに協力しよう。企業内や団体の会合などで、歯周病の啓蒙活動をしていこう。講演会なども開催しよう。市民が主体の委員会なので、活発に意見を出して活動につなげていこう。

新メンバーを迎えた委員会は、歯周病撲滅に向けて、さらなる活動を展開していきます。



希望があれば市内どこでも出張して、無料ミニ講演会を開催します。

問合せ

伊豆の国市歯周病予防対策委員会事務局(健康づくり課)
電話 0558(76)8014

親子におすすめのピンポイント情報

パパっれんじゅ!!

夏休みも終わっても、まだまだ暑い日が続きます。そんな残暑の休日、高原の涼しい風が吹く、市民の森浮橋の冒険遊び場で、思い切り体を動かしましょう。

魅力的な木製遊具に目移りしてしまう冒険遊び場ですが、今回注目するのはコンクリート製のアリジゴク。この遊具は、その名の通り、一度入ると大人もなかなか抜け出せない深さ二・五メートルのスリバチ状の穴。脱出するには、円形の斜面を遠心力でぐるぐる駆け上がりまわります。大人は、つい怖がってしまいがちですが、小学校中学年以上の脚力ならわりと簡単に登れます。ただし、途中で失速するとケガのもと。駆け上がる最中は決してスピードを緩めないのがポイントです。とにかく走り続ければ、気がついたときにはもう上まで来ていて結構爽快です。一度、親子でチャレンジしてみては?

図解 アリジゴク

か抜け出せない深さ二・五メートルのスリバチ状の穴。脱出するには、円形の斜面を遠心力でぐるぐる駆け上がりまわります。大人は、つい怖がってしまいがちですが、小学校中学年以上の脚力ならわりと簡単に登れます。ただし、途中で失速するとケガのもと。駆け上がる最中は決してスピードを緩めないのがポイントです。とにかく走り続ければ、気がついたときにはもう上まで来ていて結構爽快です。一度、親子でチャレンジしてみては?

問合せ 環境政策課
電話 055(949)6804